



JForest 栃木県森林組合連合会機関紙

発行/栃木県森林組合連合会
 住所/宇都宮市西一の沢町8番22号
 ☎028-637-1450 FAX028-637-1454
 URL/http://www.tochimori.or.jp
 E-mail/info@tochimori.or.jp

第342号

第69回通常総会の開催

本会の第69回通常総会が、3月26日に林業会館大会議室で開催されました。今回は、新型コロナウイルスの感染拡大を回避するため、来賓をお招きせず最小限の会員だけの式典となりました。

議事では、日光市森林組合代表理事組合長の佐藤和之氏を議長に選任し、執行部が提出した令和元年度事業報告及び収支決算、令和2年度事業計画案などが審議され、全議案とも原案どおり承認されました。



あいさつをする代表理事会長 江連比出市

事業別優秀組合表彰



総会にあわせて、事業別優秀組合の表彰も行われました。受賞の組合様、おめでとうございます。会員の皆様には、引き続き系統事業の推進の取組をお願いいたします。

木材共販の部（出荷数量順）

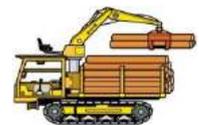
区分		出荷数量 (m)	金額 (千円)
優 秀 賞	たかはら森林組合	34,723	374,475
〃	日光市森林組合	21,982	246,918
〃	栗野森林組合	21,803	244,201

購買の部

区分		金額 (千円)
優 秀 賞	日光市森林組合	58,929
〃	みかも森林組合	40,868
〃	鹿沼市森林組合	38,617

森林保険の部

区分		保険料 (千円)
優 秀 賞	大田原市森林組合	8,176
〃	みかも森林組合	7,969
〃	那須南森林組合	5,104



令和2年春の叙勲で江連会長に旭日小綬章

令和2年4月29日付で発令された「春の叙勲」で、本会代表理事会長の江連比出市が旭日小綬章を受賞しました。大変おめでとうございます。林業界にとっても、悦ばしい受賞となりました。

同氏の功績は、県下森林組合に皆伐による木材生産への転換を指導するとともに、原木を固定価格で取引する「協定販売」のシステムを定着させ、木材の安定供給体制を確立しました。

また、伐採から植栽・保育までの一貫型循環施業や全量出材型皆伐、協定取引を積極的に推進することにより、本県の皆伐面積や素材生産量を増加させました。

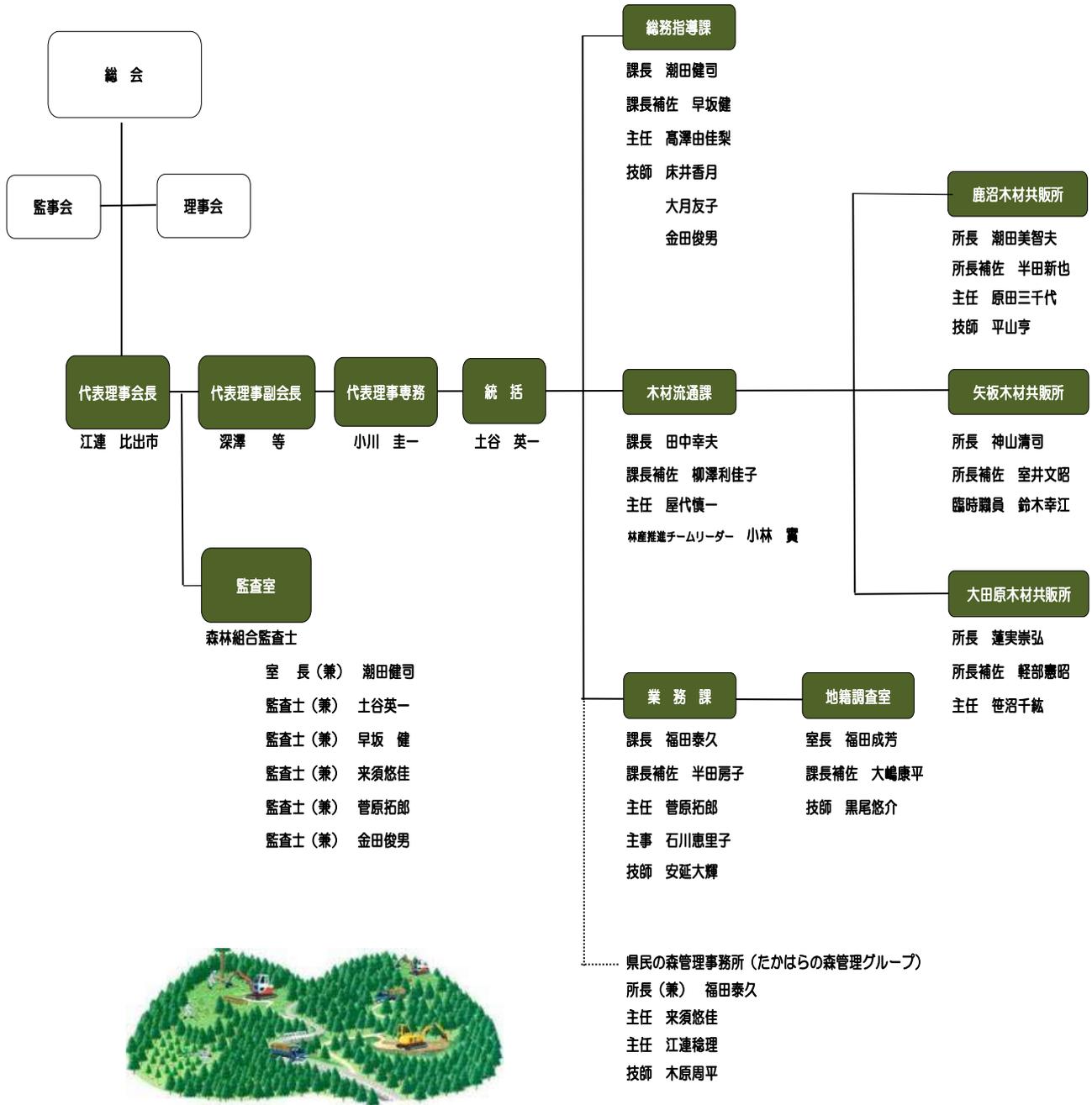
さらに、兼務するたかはら森林組合代表理事組合長として、いち早く森林経営計画の策定に取り組み、集約化による効率的な森林施業の礎を作りました。ほかにも、シカやクマによる獣害対策を率先して実証したほか、東京電力福島第一発電所事故後には、西日本から安全なしいたけ用原木を調達し、栽培者の持続的な生産活動の継続に大きく貢献するなど、林業・木材産業の成長化に向けた取組が、評価されたものと思われます。



勲記と勲章を授与された江連会長

栃木県森林組合連合会組織図

(令和2年4月1日現在)



新規採用職員の紹介コーナー

業務課

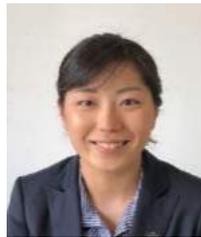
やすのべ ひろき
安延 大輝



林業のこれからを担う人材になれるよう、まずは挨拶をしっかりとって先輩方を見習い、組合員の皆様のために東奔西走する所存です！

総務指導課

とこい かづき
床井 香月



県森連での業務に早く慣れて、組合員の皆様のお役に立てるよう、栃木県の林業に貢献できるように、精一杯頑張ります。

令和2年

春季優良木材（素材）展示会を開催

春季優良木材（素材）展示会が、渡良瀬川・鬼怒川・那珂川流域森林・林業活性化センターとの共催で、2月28日矢板木材共販所を皮切りに大田原木材共販所、鹿沼木材共販所の3会場において、優良材が多数出品され盛大に開催されました。

販売量は11,105㎡で前年比90%となったものの、平均単価は前年比103%の12,006円となりました。

無事に展示会を開催できましたのは、関係森林組合のご尽力はもとより、丹精込めた優良材を出品いただきました組合員の皆様をはじめとする関係各位のご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。



展示会場入り口（大田原木材共販所）



優良材の展示風景（鹿沼木材共販所）

結果概要

会場	月日	数量（㎡）		販売率（%）	販売金額（千円）	販売単価（円）	応札者数
		出荷数量	販売数量				
鹿沼	3/12	5,282	5,130	97	62,271	12,139	61
矢板	2/28	2,383	2,383	100	27,416	11,505	48
大田原	3/5	3,630	3,592	98	43,641	12,149	53
合計		11,295	11,105	99	133,328	12,006	162
前年		12,624	12,402	98	145,026	11,694	177
前年比（%）		89	90	98	92	103	92

受賞者のご紹介

各会場の入賞者は、掲載の方々です。受賞おめでとうございます。

とちぎ日光材・みかも材（鹿沼木材共販所 R2.3.12）

賞	銘柄	出品者名	所属組合名
知事賞	スギ大丸太	福田 友愛	日光市森林組合
環境森林部長賞	ヒノキ中丸太	増山 勝衛	栗野森林組合
県森連会長賞	スギ中丸太	円光寺	日光市森林組合
	スギ小丸太	福田七右衛門	栗野森林組合
	ヒノキ小丸太	田村 豊	栗野森林組合
鬼怒川流域森林・林業活性化センター会長賞	スギ中丸太	小畑 常夫	日光市森林組合
	スギ小丸太	亀山 富男	日光市森林組合
渡良瀬川流域森林・林業活性化センター会長賞	スギ小丸太	上野 陽一	芳賀地区森林組合
	スギ小丸太	茂木芳子ほか	みかも森林組合
	ヒノキ小丸太	石沢 純一	みかも森林組合

とちぎ高原材（矢板木材共販所 R2.2.28）

賞	銘柄	出品者名	所属組合名
知事賞	ヒノキ小丸太	上野 晋五	たかはら森林組合
環境森林部長賞	スギ小丸太	宇都宮大学	たかはら森林組合
県森連会長賞	ヒノキ中丸太	斎藤 治郎	たかはら森林組合
	ヒノキ中丸太	青木マサイ	たかはら森林組合
高原地区流域森林・林業活性化協議会長賞	スギ大丸太	赤塚 啓紀	たかはら森林組合
	スギ中丸太	和氣 達郎	たかはら森林組合

とちぎ八溝材（大田原木材共販所 R2.3.5）

賞	銘柄	出品者名	所属組合名
知事賞	ヒノキ中丸太	益子 宏之	那須南森林組合
環境森林部長賞	スギ大丸太	平山 博文	那須町森林組合
県森連会長賞	ヒノキ小丸太	伊藤 一定	那須町森林組合
	スギ大丸太	平山 一次	那須町森林組合
	スギ小丸太	高根沢 隆	那須塩原市森林組合
	スギ小丸太	人見 佳子	那須塩原市森林組合
八溝地区流域森林・林業活性化協議会長賞	スギ中丸太	関谷 忠	大田原市森林組合
	スギ中丸太	大田原市	大田原市森林組合

統計データから見る栃木県の林業・森林組合

各種統計データから林業・森林組合の「とちぎ力」を見てみることにします。



主要樹種の都道府県別生産量

主要樹種の都道府県別生産量をみると、栃木県はスギは第10位、ヒノキは第8位にランクづけられています。この表から明らかのように、スギ、ヒノキについては関東・甲信地区ではほかにありません。県土の森林面積を勘案すると、単位面積当たりの産出材積は大きいです。

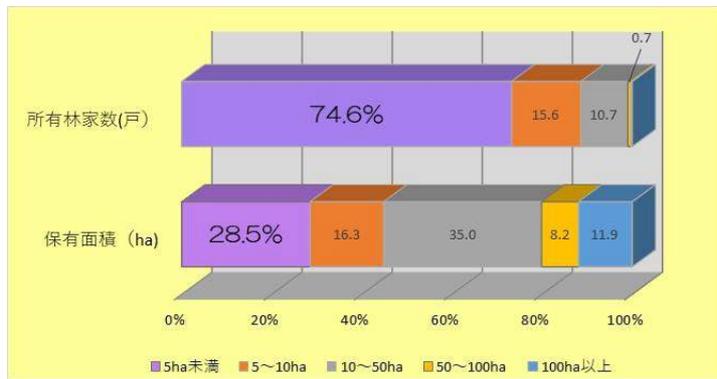
		(単位：万m ³)			
		スギ	ヒノキ	カラマツ	広葉樹
第1位	宮崎	181	24	北海道 157	北海道 80
第2位	秋田	112	岡山 23	岩手 30	岩手 28
第3位	大分	82	高知 21	長野 25	広島 13
第4位	熊本	74	熊本 21	青森 3	福島 12
第5位	岩手	70	静岡 16	群馬 3	秋田 10
第6位	青森	64	岐阜 15	山梨 3	岩根 10
第7位	福島	57	大分 15	福島 3	鹿児島 8
第8位	宮城	48	栃木 13	秋田 2	山梨 6
第9位	鹿児島	49	三重 11	岐阜 2	青森 6
第10位	栃木	44	広島 10	山形 1	宮崎 6

資料：森林水産省「平成29年木材開始報告書」
(森林・林業白書から転載)



森林所有者の保有規模

5ha以上の森林所有者が、全森林面積の72%を所有しています。残りの28%の面積は、75%を占める所有者数が保有しています。このように零細な方々が多いことから、森林施業を効率的に行うための集約化が難しい地域もあります。



所有者の不在村率

森林の所在する市町村に居住していない人が、全国レベルでは約1/4に達し、そのうち4割が県外居住者とされています。県下森林組合系統では、12%となっています。

(森林組合統計より算出)



森林組合の森林施業関連数値

- 主伐では、ha当たりの販売単価が高く、労働投下量が多いにもかかわらず、従事者1人当たりの生産額は大きくなっています。
- 間伐においては、ha当たりの販売金額が高く、従事者1人当たりの生産性も高くなっています。
- 保育作業においては、やや全国平均値を下回る結果となっています。

主伐	区分	販売高		伐採面積 C	労働投下量 D	mあたり販売単価	haあたりの販売単価	haあたりの伐採所要人数	人・日あたりの生産性	人・日あたりの生産性
		数量 A	金額 B							
		m	千円							
	栃木県	94,803	934,709	253	9,300	10	3,695	37	10	101
	全国	2,505,105	23,217,640	9,318	272,143	9	2,492	29	9	85

間伐	区分	販売高		伐採面積 C	労働投下量 D	mあたり販売単価	haあたりの販売単価	haあたりの伐採所要人数	人・日あたりの生産性	人・日あたりの生産性
		数量 A	金額 B							
		m	千円							
	栃木県	107,263	1,112,697	1,018	16,471	10	1,093	16	7	68
	全国	3,168,945	30,297,192	43,123	653,923	10	703	15	5	46

保育作業	区分	新植			下刈り			除伐			切捨間伐		
		面積 A	労働投下日数 B	施業効率									
		ha	人・日	B/A									
	栃木県	479	6,142	13	1,667	7,348	4	89	563	6	1,132	3,974	4
	全国	15,085	218,927	15	66,551	281,925	4	17,066	113,662	7	74,587	428,340	6

(森林組合統計より調整)

リモートセンシング技術を用いた新たな手法で地籍調査を実施中

現在の地籍管理は、明治時代の地租改正により、登記簿及び地積測量図が土地台帳の基礎となっていますが、現在の技術からすると精度が低い状態にあります。

このため、土地に関する実態を正確に把握する「地籍調査」の重要性が増しています。特に、山林については、森林所有者等の高齢化・世代交代、不在村所有者の増加などにより、林地の境界や所有者が不明確な地域が増加し、森林管理にも支障を及ぼしています。

本会では、このような状況の解消を図り、森林の適正な整備・管理に寄与することを目的として、令和元年度から新たな手法を用いた地籍調査に取り組んでいますので、その概要を紹介します。



地籍調査とは

一筆ごとの土地について、所有者、地番、地目を調査するとともに、境界の測量、面積の測定を行い、その結果を地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）にまとめる調査です。その成果として、地籍図と地籍簿が所定の手続きを経て登記所に備え付けられます。



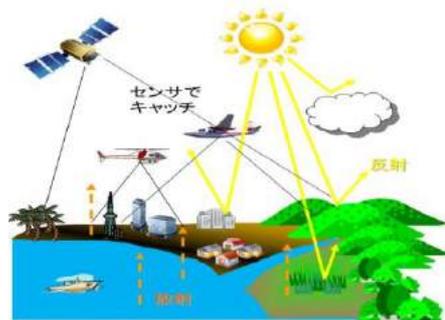
リモートセンシング法のメリット

- ①現地での立ち合いを要しない。
- ②実行経費が従前法の約7割程度に低減できる。



リモートセンシング法とは

広義には、直接的に対象物に触れることなく、何らかの方法で対象物に関する情報を取得することを指します。地籍調査等の測量分野では、人工衛星や航空機等にセンサーを搭載し、対象物からの電磁波の反射、放射、散乱等を観測することにより、対象地の地形、地物、高低、植生、分布等についての情報を取得することをいいます。



実施している地区と面積

本会では、この新しい技術を使って、令和元年度～9年度までの9ヶ年計画で実地調査を実施しています。実施個所と実施面積は、下表のとおりです。

栃木県森林組合連合会における年次計画案
(リモートセンシング技術を活用、レーザー計測を4回に分けて実施した場合)

市町名	原簿		国有林との隣接		計画面積 [ha]	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)
	県	市	県内	県外										
1 那須烏山市①	茨城県	常陸大宮市	-	-	1.39	→	→	→	→					
2 大田原市①	茨城県	大子町	-	茨城管理署	0.56	→	→	→	→					
3 那須烏山市②	茨城県	常陸大宮市	-	-	0.53	→	→	→	→					
4 大田原市②	茨城県	大子町	-	茨城管理署	3.68	→	→	→	→					
5 那珂川町	茨城県	常陸大宮市	塩那管理署	茨城管理署	2.08	→	→	→	→					
6 茂木町	茨城県	笠間市	-	-	1.52	→	→	→	→					
7 那須町①	-	-	-	-	1.26			→	→	→				
8 那須町②	福島県	棚倉町	-	棚倉管理署	3.00			→	→	→				
9 那須塩原市①	-	-	-	-	1.16				→	→	→			
10 那須塩原市②	-	-	-	-	2.57			→	→	→	→			
11 鹿沼市①	-	-	-	-	2.57				→	→	→	→		
12 鹿沼市②	-	-	-	-	2.62				→	→	→	→		
13 日光市①	-	-	-	-	2.53				→	→	→	→	→	
14 日光市②	-	-	-	-	1.63				→	→	→	→	→	→

→ RC、RD工程(準備～航空測量等)
 → RE6までの工程(調査図素図等の作成、資料収集及び分析、法務局との協議、境界推定線図の作成)
 → RE7～RHまでの工程(集合場所等での一筆地調査、補備測量、地積測定、地籍図及び地籍簿の作成)
 ※認証請求、登記手続き等は上記スケジュールに含まれていない。

※この事業は、栃木県環境森林部の補助を受けて実施しています。
(その一部には、とちぎの元気な森づくり県民税も活用されています。)

緑の雇用による人材の育成

森林ワーカーの確保は喫緊の課題となっていることから、本会では森林組合等に就業した林業経験の少ないワーカーに対し、講習や研修を行う「緑の雇用」事業を実施しています。

この研修では、研修年次（1～3年目）に応じて、様々な技能を身につけられるよう集合研修で知識の習得や資格取得を行うほか、現場ではOJT研修を行います。

さらに、現場でのOJT研修を行う指導員の資格要件となるFL（フォレストリーダー）研修も今年度から栃木県内で実施します。

「緑の雇用」研修事業の取組状況

（単位：人）

事業体名	FW研修			FL研修
	1年目	2年目	3年目	
たかはら森林組合	1	2	2	
栗野森林組合	2	3		3
鹿沼市森林組合				1
那須南森林組合	1	1		
大田原市森林組合	6			2
芳賀地区森林組合	1		3	3
みかも森林組合	1	3		2
日光市森林組合	3			
森組以外の事業体	3	1	2	2
計	18	10	7	13

OJT研修：6/1開始、集合研修：7/1開始



機械のメンテナンス講習（R1）



間伐講習（R1）

伐木作業の安全対策に係る規則等が変更

チェーンソーを使った伐木等作業における労働災害を防止するため、関係法令の改正があります。死亡災害の6割を占めるチェーンソーによる伐木作業を行う場合には、法令等を遵守し、最大限の注意を払って安全作業に努めてください。

● チェーンソーの特別教育（資格）の講習時間の増加（R2.8.1 施行）

チェーンソーによる伐木等の業務に関する特別教育（資格）は、一般的に「小径木」と「大径木」と2種類の終了証が存在しましたが、令和2年8月1日からこれらを1つに統合され、講習時間が増えます。

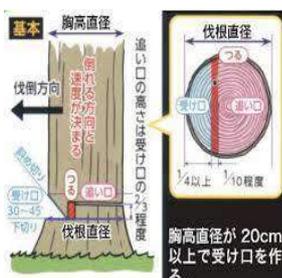
なお、従来の修了書をお持ちの方は、補講を受講することで新制度の下で作業ができることとなります。これをせず8月1日以降作業を行うと無資格扱いとなりますので、注意願います。

《注意》これまでの終了証は、補講を受けないと**8月1日以降は無効**となります。

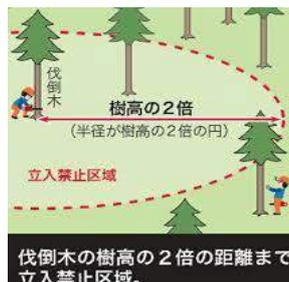


● チェーンソーを使った伐採の禁止事項（R1.8.1 施行）

・直径20cm以上は、受け口を必ず作る。



・樹高の2倍の距離以内は立ち入り禁止



・切創防止用防護ズボンの着用義務



・元玉伐り、浴びせ倒し、かかられている木の伐採



県民の森のコーナー



自然観察の拠点となる森林展示館

本会では、たかはら森林組合、高原林産企業組合との3者で「たかはらの森管理グループ」を組織し、栃木県から県民の森の指定管理業務を受託しています。

本年度は、キャンプ場をより多くのお客様にご利用いただくため、予約システムの変更や平日割引の導入など新しい取り組みを導入する予定でしたが、5月1日現在、県民の森では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、施設の利用等を自粛させていただいておりますので、紙面を利用して、「**県民の森の世界**」を満喫していただこうと思います。

※ 使用できない施設がある可能性もありますので、HP等で確認の上、お出かけください。。



キャンプを楽しむビジター



宿泊できるバンガロー



県鳥のオオルリ

県民の森は、高原山の中腹の高原県有林の一部973haを県民の皆様自然に親しむ環境を提供できるよう昭和49年に設置されました。

寺山ダム付近からミツモチ山頂までおよそ800mの標高差がある森の中には針葉樹林や広葉樹林が混在し、様々な動植物が生息しています。

自然観察の拠点である森林展示館には、自然解説員が常駐し、四季折々の自然情報や観察のポイントなど、利用されるお客様への情報提供を行ってきました。

また、自然への関心を喚起するため、ハイキング、クラフト、自然観察、キャンプなど様々な導入体験イベントを実施しております。



ゴヨウツツジ（シロヤシオ）の花



巣穴から顔を出すムササビ

ご利用いただいている施設としては、「見て、聴いて、触れる」ことが出来る体験型展示施設の森林展示館、昆虫標本を展示しているマロニエ昆虫館、そのほかに木工館やキャンプ場、BBQ広場などの施設があり、自然を知る学習の場として、またご家族や友人と楽しむレジャーの場として、幅広い層のお客様がそれぞれの目的に応じた楽しみ方で、豊かな自然を満喫することが出来る施設となっております。



解説員が案内するハイキング



親子での木工体験



コケ玉づくりに挑戦

おわりに、皆様に安心して訪れて頂ける日が来た際には、存分に自然を楽しんで頂ける場であるよう、スタッフ一同環境の整備に取り組んでまいります。今後とも変わらぬご声援を頂ければ幸いです。

お知らせのページ



災害に備える森林保険への加入はお済ですか。

保険金のお支払いの対象となる8つの災害

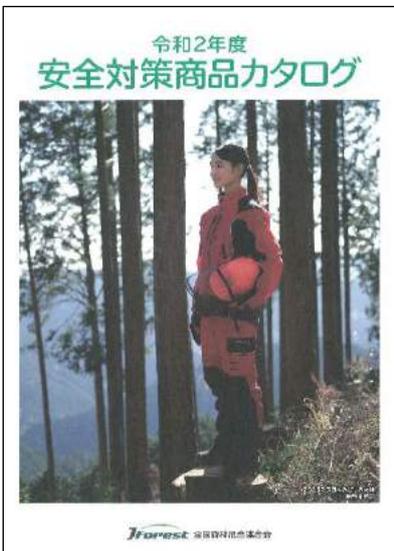
火災 山火などで 樹木が燃焼する などの被害	風害 暴風による 幹折れ、倒伏 などの被害	水害 豪雨、洪水による 浸水、水没、 流失などの被害	雪害 大雪降りによる 幹折れ、倒伏 などの被害	干害 乾燥による 枯死などの 被害	凍害 凍結、凍害など による枝死など の被害	潮害 台風、高潮など による根腐れなど の被害	噴火災 火山噴出による 樹木、幹折れ、 倒伏、枝死 などの被害
--	---------------------------------------	--	---	-----------------------------------	--	---	--

森林保険は台風や火災による森林への損害を総合的に補償します。近年、相次ぐ災害への備えとしてご加入を検討してはいかがでしょうか？

詳しくは、お近くの**森林組合**または**栃木県森林組合連合会**へご相談ください。



作業にあたっての安全装備は十分ですか。



労働安全衛生規則の改正により、昨年からはチェーンソーを用いた作業では、切創防止用保護衣の着用が義務付けられています。ほかにも、労働災害の防止・軽減を図るために、機能の高いヘルメット、安全靴、防振手袋、伐倒補助器具、獣害対策商品など、林業作業に係る各種資材を用意していますので、本会にご用命ください。

http://www.ringyou-goods.net/files/home/anzen_catalog2020.pdf



2020年度も安全装備品の購入助成があります。

農林中央金庫では、2020年度も林業用安全装備品の購入費の助成を行います。

- ① 助成対象団体：労働安全衛生に取り組む森林組合及び連合会
- ② 助成対象備品：
 - ・一定の防護機能を有する安全装備（防護ズボン、ブーツ、ヘルメット、ジャケット、手袋）
 - ・熱中症防止のための空調服
 - ・研修資材（伐倒研修キット、伐倒ガイドレーザー）
- ③ 助成率：30%
- ④ 募集期間：下期募集は9月1日～9月30日まで



県産出材を使用した木造住宅の建築主に県の助成があります。

県産出材を一定量使用して木造住宅を建築する建築主に対して、その木材使用量に応じて県から補助金が交付されます。

- 補助要件**
- ① 生活の拠点として速やかに居住
 - ② 木造で、軸組工法の1戸建て住宅
 - ③ 延べ床面積75㎡以上
 - ④ 合法木材の使用
 - ⑤ 県産材を10㎡以上使用
 - ⑥ 県産出材（使用木材の55%以上、構造材60%以上）を使用
 - ⑦ 県内に本店（本社）を有する建設業許可業者の施行



県産出材使用料㎡	補助金額
40㎡以上	40万円
35㎡以上40㎡未満	35万円
30㎡以上35㎡未満	30万円
25㎡以上30㎡未満	25万円
20㎡以上25㎡未満	20万円
15㎡以上20㎡未満	15万円
10㎡以上15㎡未満	10万円

お問い合わせ先は 栃木県木材業協同組合連合会 ☎028-652-3687